

園だより



ArteKodomotoKi

社会福祉法人 種の会
幼保連携型認定こども園
アルテ子どもと木幼保園
〒164-0001 中野区中野1-59-5
Tel 03-3365-0602

8 2025



ホームページ



Instagram

お知らせ

・夏休みに関して

★幼稚園コース（1号認定児）は8月1日～31日まで夏休み期間（※登園を希望される場合はChildCareアプリの電子連絡帳から事前にご連絡下さい。）今年度に限り8月20日～31日までの保育料は無償です。

★保育園コース 夏休みの連絡を通常通りChildCareアプリの連絡入力からご連絡下さい。
口頭で担任等に伝えた場合もアプリへのご入力をお願いします。

・次年度 幼稚園コース（1号認定児）入園説明会を8月に3回行います。

募集は新3歳（5名）と新4歳（1名）となります。お知り合いの方でご希望されるお子様がいらっしゃる場合は是非ご案内下さい。（門前のウィンドウにポスター、ホームページに詳細を掲載しています。）

・音楽遊び 日程変更のお知らせ

9月1日（月）→9月2日（火）に変更します。ご了承ください。

- ・9月1日は予定通り、引き取り避難訓練を行います。大災害を想定した避難訓練を行い、そのまま保護者のお迎えを待ちます。（15時発令を予定）年に一度の訓練となりますので、参加のご協力をお願い致します。詳細は後日お知らせ致します。幼稚園コース（1号認定児）のお子様は15時以降のお迎えのご協力をお願いします。

August 8 2025						
sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
					1 幼稚園コース 夏休み開始	2
3	4 音楽あそび 発育測定	5	6	7 運動あそび （プール） 地域サーキット	8	9
10	11 山の日	12	13	14 運動あそび （プール）	15	16
17	18 音楽あそび	19	20 避難訓練 園見学会	21 運動あそび （プール）	22	23
24	25 音楽あそび	26	27 誕生会	28 運動あそび （プール）	29 プール納め	30
31 幼稚園コース 夏休み終了						
※地域サーキット、園見学相談会は地域にお住まいのご家族への子育て支援として開催しています。						

※今月の園だよりのテーマ：成長を感じたエピソード



屋上のプールは役目を果たせず何だか寂しげです。熱中症予防のため、暑さ指数31以上で運動は原則中止となり、プール遊びができない日もあります。猛暑が続き自然環境の厳しさも感じますが、プールや水遊びの他に夏の野菜や生き物に触れるなど様々な体験できるよう工夫しながら、健康で楽しい夏を過ごしていきたいと思っています。

幼稚園コースの方は夏休みとなりご家族で出かける機会も増えると思います。水辺の事故も相次いでいますからレジャー先では、お子さんから目を離さず安全に留意して下さいね。

仕事で長期の休暇は難しいという方も、お子さんと一緒に料理や絵本の読み聞かせなど、ちょっとした体験が小さな挑戦や冒険になるかもしれません。特別なことでなくても心に残る夏の思い出がそれぞれの心に刻まれますように。

園長 山田寿江

え〜っ！！保育士不人気って本当？

中高生の体験学習や大学生の保育実習、学生のアルバイトなど将来の保育を担う人材は宝者です。不適切保育や教師による盗撮事件により保育士や教師は「なりたい職業」から消えてしまったと聞いていましたが、どうやらランキングに健在のようです。

日本FP協会によりますと2024年度、小学生のランキングで女子はイラストレーターと保育士が1位、中高生では「教育・保育・学術」に興味を持つ生徒が多く、高校生でも保育士は上位にランクインしています。保育士人気が高くてホッとしましたが、養成校への入学者は年々減っているとのこと。保育士の給与の低さ、労働時間の長さ、人間関係の難しさ、保護者対応の負担などの理由が挙げられており、養成校への進学をためらう要因のようです。

保育士は子どもの育ちを支え、子どもと共に学び成長できるやりがいのある仕事です。子どもへの愛情と理解はもちろん命を預かる責任感と倫理観も欠かせません。専門的知識とスキル、コミュニケーション力、柔軟性など必要な能力は多岐にわたりますが、人間性を高めてくれる魅力的な職業でもあります。

種の会では… 法人内新任研修の他、新入職者向けのレクチャー「新人さんいらしゃ〜い」や「メンターメンティ」によるサポート制度など新入職員が馴染めるような仕組みが充実しています。テーマパークやコンサートのチケットを補助する「エンターテイナー企画」でライフワークバランスも応援しています！処遇改善もされていますので、未来の保育者が輝きながら働けることを期待しています。



こども園の小さな先生

夏休みなどを利用して、小学生の保育体験を受け付けています。得意なことを活かして園児と遊んでもらっています。タ方の短い時間ですが、お兄さん・お姉さん先生は大人気！ゲームの勝負も本気モードで手加減なしです。一生懸命に遊ぶ姿に引き込まれ、笑顔があふれています。楽しい体験が、夏の思い出の一ページになれば嬉しい限りです。

※小中学生の保育体験は通年受け付け中です。事務所までお問合せ下さい。

無限にある遊び

主幹教諭：中村

0歳児クラスに行くと、真ん中に穴が開いているカラー積み木で遊んでいました。穴にぴったり入る筒状の積み木もあり、手に取り床に当ててみたり、両手で2つ持ちカンカンと音を鳴らしてみたりしていました。又、保育者の真似をして穴から覗いてみたり、別の玩具を穴に入れて見たりと、遊び方はいっぱいです。

大人はどうしても積み木を重ねたり並べたり、同じ色同士に入れるなど、遊び方を教えようとしてしまいます。そしてその通りに出来る事が凄いという事になっているように感じます。

アルテでは“初めての物に出会う”を大切にしています。

こんな風に物と関わるのだという様子が、本当にたくさんみられ保育者の発見にもなっています。子どもは？これは？何だろうと思うと、あらゆる方法を試し自分で知っていきます。

乳児期にやってみたい事をおもいきり行う事で、物の使い方や大切にする気持ちが持てるようになっていくのかなと思います。

園では様々な素材を使って、感触遊びを行っています。家庭では中々経験できない事も、園ではダイナミックに活動できると同時に友達との存在も大きく、興味がどんどん広がっていきます。



主幹教諭：黒木

笑わないで

赤ちゃんの頃から元気いっぱい、自分の気持ちを表すことができるBさん。ずっと楽しみにしてきた誕生会で、自分の年齢を間違えて発表してしまいました。会場の友達から「4さいだって～違うよね～わっはっはっ」と大きな笑い声。これまでのBさんなら、そんなことではへこたれないイメージでしたが、一瞬で顔がこわばり唇も震えました。司会の保育者に隠れるように顔を横に向けて涙をこらえ、次の質問に答えることができませんでした。その様子は、見ているこちら胸が痛くなるものですが、何ともないと思う幼い心から、繊細な感受性への成長を感じました。ほろ苦い経験にはなりましたが、その後の得意技の発表で友達から歓声が上がると、見事に切り替えて笑顔になったBさんでした。



表紙の絵

3歳ナノ組のたいりくんの作品です。畑の横にイーゼルを置いて、トマトを観察しながら描きました。トマトの丸さ、葉の動きなどをとらえています。



AtoO

子どもの“やりたい！”に寄り添いながら
最近のブームは“テーブルに登る、くぐる”“椅子を引き出す、押す”です。運動発達に伴って、動きが活発になってきました。ご家庭でも“危ないな〜”と感じる場面が増えてきたのではないのでしょうか。危ないからとついついすぐ止めてしまいそうになるのですが、子どもの行動の理由や背景に目を向けるようにしています。

“体を動かしたい”“挑戦したい”“自分を見てほしい”という欲求があると感じます。声の掛け方や止めるタイミング、代替案を日々保育者間で共有、相談しながら関わっています。子どもたちの“今やりたいこと”に向き合うことで、認めてもらえた安心感や発達の助長、危険予測につながると考え、子どもたちの挑戦を温かく見守っています。



五感を使って食事を味わう

保育者にスプーンで食べさせてもらう経験を経て、“自分で食べる”ことも増えてきています。

Nくんは、てのひら全体を使って食材をつかみ口へ運びます。時には顔や頭に塗りつけたり、床へ落としたりする場面もあります。Mさんは、食材に手を伸ばすことが増えました。“自分で食べてみたい”という意思表示かもしれません。小皿に食材を乗せると、じっと見つめた後に手をグーパーさせて感触を確かめていました。

子どもたちの姿から、食事は口で味わうだけではないと感じます。食事を見て、匂いをかぎ、触って、聞いて、味わっています。子どもたちの味わいの時間を丁寧に関わっていきます。



Ato1



“黄色のおうち”と“緑色の宝物”

登園後、ブロックコーナーで集中して遊び込むKちゃんです。その日は黄色のブロックを選びました。並べてはめたり積み重ねたり……。イメージを膨らませ、考えながら楽しそうに作り続けます。丸い形のブロックは屋根のようです。庭にお花も付けました。そして実は、緑色のブロックでもお花を付けて何やら作っていました。こちらは小さな作品です。とても大切なもののようです。友達に見つからないように、棚の奥の方にそっとしまっていました。



こうやって食べるんだね！

午後おやつに時々出るともろこし。最初の頃は、どのように食べたら良いのか分からなかったようです。「こうやってかじって食べるんだよ」と保育者が食べる真似をして見せても、なかなか難しいようでした。でもやっぱり経験ですね。先月の焼きとうもろこしは、両手でしっかり持って、上手にかじって食べていましたよ。食べ方が分かると美味しさも分かり、きれいに食べる子ども達でした。



はじめての泡遊び

水遊びが始まりました。タライの中の水に触れ、感触を確かめて気持ち良さそうです。スコップで水をすくったり、ジョウロのシャワーを楽しんだりしています。

数日間、水遊びを漫喫。1歳アト組のお兄さんお姉さんになったので、泡遊びを取り入れてみました。はじめての泡遊びです。タライいっぱい泡立ると嬉しくてはしゃぐ子ども達。まず泡の中に手を入れてみます。その手を口元へ持っていく姿はなく、泡が付くと両手をこすり合わせて石鹸で手を洗う真似をして遊ぶ姿がありました。どうやって遊ぶのかよく分かっていますね。1年経ち、成長ぶりが伺えました。



Píco2

もう一回集めてみよう

ポンプボトルに色水を入れて遊んだ時の出来事です。ポンプを押して水を出す事に必死な子ども達。そこで今まで使ったことのない形のスポイトを出してみました。なかなか思うように水を吸い取れず苦戦していたので、コツを伝えてみると使い方が上達していきました。しかしスポイトが使えるようになってきた時にはボトルの水は出し切り、なくなっていました。新しい水を入れてと言われるかなと思いながら見守っていました。しかしSさんはボトルの蓋を開けると、「もう一回集めるの」と少しずつスポイトで水を集め始めました。さらに近くにいたKさんが「水がない」と言っているのを聞き、Sさんは水が溜まってきたボトルを渡します。そしてまた別のボトルに水を集め始めます。KさんはSさんにもらったボトルの水を使い切ると、今度は自分でスポイトを使って水を集め始めました。困ったときにすぐに別の新しいものに頼るのではなく、自分にできることを活かして遊ぶSさん、友達の姿を見ていいなと思ったことを真似して取り入れていくKさんの姿を見て、成長を感じました。

色水の次は絵の具を使ってスポイト遊びを続けています。ポタポタと一粒ずつ垂らしながら色の混ざりを見ていきました。これからもできることが増えて遊びが広がっていくのが楽しみです。



貸してあげて！

A君は大好きな電車の玩具を使ってよく遊んでいます。長い線路を作るとそこに集まって来る子ども達。友達が持っている電車が魅力的に見えるようで「使いたい」「〇〇の！」というやりとりがよく聞こえてきます。A君がレールを繋げて電車で遊んでいると、その横でTさんとK君が電車の取り合いを始めました。すると、A君が「Kさん、Tさんに貸してあげて」「取っちゃだめだよ」と仲介に入りました。その言葉を聞いたK君は取ろうとしていた手を止め「かーしーて」と伝えることが出来ました。その後、3人は線路に電車を走らせ遊んでいました。今までこのような状況になると「言葉で伝えようね」と繰り返し伝えてきていました。A君にその言葉が響いていて、友達のトラブルも言葉で解決しようとしている姿に嬉しかった出来事でした。



Nano3

～言葉で伝えられるようになってきた子ども達～

4月の頃は自分で作った玩具を少し触られるだけで「私の！」「僕の！」と強く相手に伝える姿が多く、保育者が仲裁に入っているにも他の場所でトラブル、また違う場所でトラブル、と同時に3か所でトラブルになることもありました。保育者は仲裁に入る度、その子の嫌だったことに共感し、相手の子にも話を聞き、こうしたらお互いが納得できるのではないかと解決策を導いてきました。最近は少しずつ相手の気持ちにも寄り添おうとしている様子の子も。相手が嫌がっていることに気付いてやめたり、自分の気持ちを丁寧に伝えたりと保育者が入らなくとも子ども同士で解決できる場面も多くなってきました。今後たくさん友達と気持ちがぶつかり合うと思いますが、気持ちがぶつかった時に相手の気持ちも考えてみたり新しい解決策を見つけたりしながら関係性を深めていく、そういった経験がさらに子ども達の成長につながっていくのだと感じています。



赤いの欲しいけど……（悩）



～お片付け名人～

以前までお片付けの放送が流れても遊び続けたい気持ちが強く反応を示さなかった子ども達ですが、クラスの中で人一倍片付けをしてくれる『お片付け名人』、AさんとTくんがいました。保育者は「え！そんなにたくさん片付けてくれるの？」「すごい！力持ちで助かる～！」と大きな声で2人の頑張りをアピールします。すると……その声が気になり反応を見せる周りの友達。少しずつ褒めてもらいたいからと片付けを進んで始める子が増えていきました。そんな様子が毎日続き、今ではお片付け名人がたくさんいます！“びかびかにした”という言葉がいつも聞こえてきます。最近『勇気100%』の曲が終わるまでに片付けようと意欲を見せている3歳ナノ組さんです。



Nano4



“お掃除名人！”

給食当番は、2人の5歳ナノ組さんが配膳から食後の掃除までしているのですが、ある日、5歳さんが午前中の活動が忙しかったので、当番の子どもが給食を食べ終わるのが遅くなり掃除ができない時がありました。そこで、「4歳さんでお掃除手伝ってくれる人いる？」と聞くと、数人の子ども達が手を挙げて、掃除をしてくれました。Aくんは小さなゴミも見つけて、たくさんのゴミをちりとりを集めていました。Bさんは、しっかり力を入れて雑巾がけをして、床がピカピカになりました。Cさんは、テーブルや椅子の汚れをテーブル拭きできれいに拭き取ってくれました。そして終わってみると、床もテーブルもピカピカになっていました。それからというもの、給食が終わる度に、「お掃除したい。」「お掃除してもいい？」と言って、すすんで掃除をしてくれる子どもが増えていきます。給食当番の5歳さんも手伝ってくれることを喜び、サポートしながら一緒に掃除をしています。

給食の後の掃除だけでなく、おもちゃの片付けも積極的に行うようになりました。お集まりの前や、降園する時にきちんと片付けています。Dくんは友達や保育者が片付けているのを見ると、すぐに手伝ってくれます。最近はお掃除名人がどんどん増えています。

“好きな遊びを見つけて、、、”

好きな遊びを見つけて、じっくり遊びこんでいる姿が多く見られるようになりました。Eくん、Fくん、Gくんは将棋に夢中で、毎日対戦しています。Hくんは、カードゲームが気に入った様子です。でも、負けず嫌いなHくんは、自分が負けそうになると悔しくて涙を流すこともあります。それでも、毎日カードゲームで誰かと対戦しています。

女の子達は粘土や画用紙でバッグを作るなど、物づくりに夢中です。それぞれ好きな遊びを見つけて、夢中になって遊んでいます。



誰かを助けて、喜び姿をみて、嬉しそうにしている姿や、自分の好きな遊びを見つけて、自分の世界を広げている姿に成長を感じます。最年長の5歳クラスに進級するまで、心も体もどれだけ育っていくのでしょうか。成長を感じる嬉しい日々が、まだまだ続きそうです。

メダカの水槽が…！

5歳のお部屋ではメダカを4匹飼っています。お当番の子達は毎日メダカの様子を見て、「少しずつあげよう」「もうちょっとあげたら？」と量を考えながら慎重にエサをあげています。ある朝のこと、Aさんが「エサが落ちてる……」と水槽の前にエサがパラパラと落ちているのを教えてくれました。水槽を見るとエサが石に溜まっていて水が濁っていました。子ども達からの話によると、前日の夕方に好奇心でエサをたくさん入れた子がいるようです。1階の水槽へメダカを避難させ、お集まりでクラスみんなに朝の出来事を話しました。「おなかがパンパンで痛くなる」「苦しくなって死んじゃう」と、エサが多すぎるとメダカがどうになってしまうのか想像します。「カビちゃう」「病気になっちゃう」と、汚れた水槽に住み続けるとどんな影響があるのか考える姿もありました。お集まりが終わると、早速水槽をきれいにすることにしました。汚れた水を流すと、「くさい！」「変なおいする」と見ているだけでは気づかなかった臭いに思わずびっくりです。メダカのお世話当番のBさんとCさんは、石やメダカのお家を取り出してお掃除します。初めは独特な臭いと汚れに少し興奮気味でしたが、ブラシやスポンジでこすっていくうちに集中していきました。こすってはすすぐことを繰り返し、細かいところまで確認して入念に洗います。お家でもメダカを飼っているというBくんは「この緑は藻っていうんだよ」とCさんにどこをきれいにしたら良いのか教えていました。興味本位で行動することもあります。メダカの特徴やお世話の仕方について考えるきっかけにもなりました。失敗も経験して、命を大切にしたり思いやりたりする気持ちを育んでいきたいです。

Nano5



友達とふれあって

室内で過ごす日は、友達とふれあいながら運動会で行う組体操の技にも挑戦しました。簡単な技はすぐに覚えて、成功したら友達とハイタッチをして喜び合う姿もあります。初めは組体操に消極的だったDくんは何度か保育者や友達と触れ合って遊ぶうちに勇気がでてきたようで、Eくんを誘って2人技をやってみました。数秒間技を決めると、「できた！」と嬉しそうに目を輝かせていました。次の日には3人技にも挑戦し、「また組体操やりたい」と友達と一緒にできた嬉しさがやる気に繋がったようです。



ほけんだより

熱中症に注意しなければいけない季節になりました。大人も気をつけなければいけない熱中症ですが、体温調節が未熟な子ども達はさらに注意が必要です。

なぜ大人よりも子どもの方が危険かというと、子どもは暑さに弱く、照り返しの影響を受けやすいことが関係しています。体温を下げるためには汗をかくことが必要ですが、子どもは汗をかく能力が未熟で汗をかくのに時間がかかります。そのため子どもは大人よりも体温を下げにくく、熱が体にこもりやすい状態になります。そして身長が低い子ども達は、地面に近く照り返しの影響を受けるため大人より7℃も暑くなることがあると言われています。

熱中症にならないために水分を摂取すると思いますが、水分摂取にも気を付けなければならないことがあります。「ペットボトル症候群」を知っていますか？水やお茶ではなく、炭酸飲料やスポーツドリンクなどの糖分を多く含む清涼飲料水で水分摂取をしていませんか？糖分を多く含む飲み物を大量に摂取すると、血糖値が急上昇して糖尿病のような状態になってしまうことがあります。特に子どもは大人よりも少量でペットボトル症候群を発症する恐れがあり、注意が必要です。基本的な水分摂取は水やお茶にして、ジュースの飲みすぎには注意しましょう。

7月初めに学校薬剤師の石井先生が来園し、プールの水質検査と5歳さんに感染症についてお話をしてくださいました。ウイルスは口だけではなく目や耳、鼻からも体の中に入ってきて、普段触っている場所のあちらこちらに菌がついている。だから手洗いが大切であることなどを伝えてくださいました。質問コーナーではみんな積極的に手をあげて、熱が出たときはこうだったと自分の経験を話したり、注射が痛くなる方法などを聞いていました。



発育測定 8月 4日(月)

0歳児健診 8月 6日(水)

8月20日(水)

保健指導予定 鼻について



食育だより

We want to cook delicious food



みずみずしい夏野菜がおいしい季節ですね。厳しい暑さが続くと、体が疲れやすくなり、食欲減退、水分不足に陥りやすくなり熱中症のリスクも高まります。元気に乗り切るために、食事・睡眠をしっかり取り、規則正しい生活を保ち、こまめな水分補給を心がけましょう。

じゃがいも 🍠

6月に5歳ナノ組さんと一緒にじゃがいも堀りをしました。大きなじゃがいもにびっくり!!

いったいどんな味がするのだろうか?

7月に入って収穫したじゃがいもをみんなで洗って、食べられるじゃがいもと食べてはいけないじゃがいもの選別をして、給食室へ。みんなで話し合っ、「フライドポテト!!」とオーダー。油であげておやつで食べました。

某ハンバーガー店のポテトとは少し違う味と食感。

ほくほくフライドポテトにコンソメ、塩、ケチャップから選んでおいしくいただきました。来年はどんなじゃがいもができるのかな?今から楽しみです。



ピーマンの種とり

3歳ナノ組さんがチンジャオロースに使うピーマンの種とりのお手伝いをしてくれました。みどりのピーマンときいろのピーマン、ピーマンにはいろいろな色があるんだね。味は違うのかしら?目の前で炒めて味見をしてみます。

「にがーい」、「あまーい」味の感じ方も様々。苦手な子もひとかじり、なんだか食べられそう。翌日の給食のピーマンにも挑戦してくれました。

🍅 夏野菜 🥒

夏に旬を迎える食材には、水分やミネラルがたっぷり含まれているものが多いです。夏野菜は、夏バテ防止に効くビタミンB1、ビタミンC、カルシウム、カリウムなどの栄養が豊富。トマトやスイカ、トウモロコシなどは子どもも食べやすく、沢山汗をかく時期に必要な栄養素を補うことができます。モモやメロンなど夏の果物も体の熱を冷ます働きがある為、暑い季節にぴったりです。食欲が落ちやすい夏にも食べやすいでしょう。暑い夏を元気に過ごすためにも、太陽の光をたっぷり浴びた夏野菜や果物を積極的に摂取していきましょう。

参考: ほしい is

🍉 8月の行事食 🍉

8/8・22(金) カミカミ給食

〔昼食〕

ご飯、チキン南蛮、コーンサラダ
なすのみそ汁、オレンジ

〔おやつ〕

枝豆の塩こんおにぎり
いりこのごまがらめ



8/27(水) お誕生日会

〔昼食〕

ロールパン、鶏肉のコーンフ레이크焼き、
フレンチサラダ、トマトのコンソメスープ、すいか

〔おやつ〕

お誕生日
(レモンのアイシングケーキ)

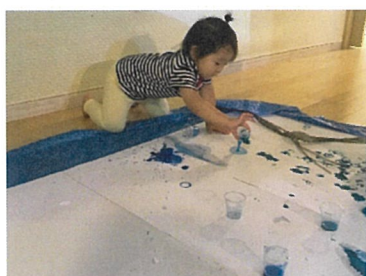
8月の旬の食材

パプリカ、ピーマン、とうもろこし、スイカ、なす、きゅうり、ズッキーニ、ゴーヤ、大葉、かぼちゃ
さやいんげん、メロン、すいか、もも、ブルーベリー、いわし、あじ、カレイ

表現も大胆に

夏本番だというのに、暑すぎたり雨が続きたりで水遊びもままならない日が続きました。せめて氷の冷たさでも感じながら夏を味わってもらいたくて、1歳児クラス子ども達を海辺の映像と波の音が流れる空間に誘ってみました。

海をイメージした色水の氷を渡すと、Fくんは「アイス～」と見た印象を言葉にしながら、少しずつ色をつけました。Rさんは、プラカップに入った溶けた色水を紙にたらして、氷で擦って色を広げました。昨年の今頃は、クレヨンに触るのもおっかなびっくりだったFくんと、新しい素材にはなかなか手を伸ばそうとしなかったRさんです。夢中で遊ぶ二人の姿からは、これまでの遊びを通して好奇心が育まれていることが感じられました。Hくんは氷をスタンプのように何度も押して模様がでるのを楽しみました。氷が溶けるにつれてHくんの開放感も高まり、色水を手や足に滑らせて真っ青になりながら、紙の上を歩いて足跡をつけるほどでした。汚れるのもへっちゃらなところは変わらないどころか、ますますパワーアップ。三人三様の表現で、夏の海ができました。



一緒にやろうよ



色水の氷で遊びながらできた海の上に、いろいろな形をした貝殻やヒトデを広げ、子ども達に声をかけました。Mくんはヒトデを手にするのとじっくり見て触って、遊び終わると隣にいたSくんにさりげなく渡しました。月齢が下の友達を気遣うかのような行動に成長を感じましたが、Mくんは自分の感じた面白い世界にSくんを誘っていたのかもしれない。

筆で自分の手のひらに絵の具を塗ってスタンプをしていたYくんですが、保育者が手のひらを広げていると持っていた筆で色を塗りはじめるではないですか。隣にいたKくんも真似をして塗りました。まるで、「あなたも見てないで、一緒にやろうよ」とでもいうかのように。子ども達に誘ってもらえたようで嬉しくもあり、大人も一緒に楽しむことで子ども達のワクワクした気持ちが広がっていくのかもしれないと感じました。子どもと遊んだ海には、サンゴや海草にも見える鮮やかな模様が浮かび上がりました。

